



産前産後の支援

問 〓 子どもを産み育てる世代への支援である産後ケア事業の現状を伺います。

答 〓 保健福祉部長 医療機関等において宿泊を伴うショートステイ、日帰りのデイケア、助産師による産後ケア訪問の3つのメニューがあります。

また、利用対象者の条件変更や一部費用負担の助成制度も開始し、事業を拡大しています。

ふるさと納税制度

問 〓 今年度末の実績見込みを伺います。

答 〓 総合政策部長 今年度末の目標値として、受入件数4000件、受入金額1億円超えを目指し、さまざまな取組を推進しています。

県営畑地帯総合整備事業

問 〓 本事業内で行う実門地区および横田地区の農業用排水路整備の進捗

状況を伺います。

答 〓 産業振興部長 実門地区の排水路は、全体1117メートルのうち257メートルが施工済みであり、横田地区の排水路は、全体1237メートルのうち397メートルが施工済みです。

南海トラフ地震の対応

問 〓 南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されましたが、災害に対する本市の心構えを伺います。

答 〓 市長 起こり得る災害に対して、早期に適切な対応策をとるとともに、対応にあたる体制を確立します。台風や大雨など、災害を予想できるものに関しては情報収集をしっかりと行い、庁内で認識を共有することで、相互の連携を図ります。

また、市全体への適時適切な情報提供に努め、避難所の開設等、市民の安全を第一に対応していきます。

金属スクラップヤード等規制条例

問 〓 千葉県が本条例を制定した目的および立法事実を伺います。

答 〓 建設環境部長 ヤード内の不適切な保管に伴う近隣住民への問題が生じているため、生活の安全確保と生活環境の保全上の支障を防止することを目的に「千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」が令和6年4月に施行されました。

【その他の質問】▼人口減少の現状と今後の取組



基幹道路の整備

問 〓 北板川公民館付近の道路整備について、今後の予定を伺います。

答 〓 建設環境部長 北板川公民館付近にある見通しの悪い坂道区間の一部について、現道拡幅工事を行う予定です。

問 〓 成田空港へのアクセス道として期待される道路（成東駅北側から真行寺地先を経由、板中新田地先・横田地先まで繋がる道路）の、今後の整備計画を伺います。

答 〓 建設環境部長 現在のところ、拡幅の計画はありません。

県営畑地帯総合整備事業

問 〓 富里市の畑の冠水対策として調節池を整備していますが、下流側の実門地区において氾濫を起こしている状況にある中、なぜ上流に調節池を整備したのか伺います。

答 〓 産業振興部長 千葉県印旛農業事務所に確認したところ、調節池は、

上流の排水を受け一時的に水を溜め、水量を調節するため整備したもので、現在、下流排水路の整備を進めているとのこと。

問 〓 令和元年の豪雨では、実門地区の排水路整備で整備した間知ブロックにズレが生じましたが、その後5年以上が経過してもなお、対策が講じられていない理由を伺います。

答 〓 産業振興部長 対策工法を検討しましたが、その工法案について県と地元の考えに乖離があることから、未だ対策工事に至っていないとのこと。

問 〓 今後の取組について伺います。

答 〓 産業振興部長 引き続き、地元説明を行い、理解を得ながら進めていくとのこと。

市としても、排水路の早期完成に向け、協力していきます。

人口減少対策

問 〓 結婚応援事業の概要および今後の展望を伺います。

答 〓 総合政策部長 20歳代から40歳代の独身男女を対象とした恋活イベント（異性とのコミュニケーションセミナー含む）を、令和4年度から実施した結果、累計満足度96・9％と好評を得ています。

結婚・子育てを希望する方々に出会う機会を確保していくことが大切と考え、今後も継続していきます。



ふるさと納税制度

問 本市の「ふるさとさんむ応援寄附金」について、主な返礼品および人気の高い返礼品を伺います。

答 総合政策部長 令和5年度の実績における金銭面および数量面の人気上位返礼品は、次のとおりです。

【返礼品人気ランキング】

	金銭的順位	数量的順位
1位	愛犬と泊まれる 宿泊施設の宿泊券	訳アリ 九十九里温州みかん
2位	訳アリ 九十九里温州みかん	たまご50個セット
3位	希少品種黒いちご	希少品種黒いちご
4位	たまご50個セット	山武市産完熟いちご

問 本事業における実質収支状況および1人あたりの換算額を伺います。

答 総合政策部長 令和5年度の実績ベースでは、受け入れ額約7447万円に対し、中間事業者にかかる経費が約3656万円、山武市民の方が他自治体に寄附したことによる税金控除（個人住民税の減税額）が約4646万円となり、差引実質収支額は、約マインス855万円です。

住民1人あたりに換算した実質収支額は、約マインス178円です。

なお、減収分については、地方交付税で補填措置されています。

問 今後の「ふるさとさんむ応援寄附金」の取組方針を伺います。

答 市長 ふるさと納税の受領額を確保するための取組は、厳しい財政状況の中で、市の自主財源を確保し、市民サービスを向上させるための重要な事項と考えています。

また、全国の皆さまに山武市の魅力的な特産品（農作物や海産物、加工品や工芸品等）を知ってもらうよい機会であり、ふるさと納税と返礼品の受領を通じて、山武市ファンを増やすチャンスとも捉えています。

実際に返礼品を受け取り、完熟いちごやメロン、新鮮な野菜を食した方は、その後もリピーターとなる方が多く、今後も、市の返礼品協力事業者の皆さまや関係する委託事業者と連携強化を図りながら、積極的に推進していきたいと考えます。



防災について

問 本年8月の南海トラフ地震臨時情報発表時の本市の体制を伺います。

答 総務部長 消防防災課職員が第2配備の警戒体制で5日間勤務し、その後、2日間は自宅待機体制に移行しました。

問 本年8月の台風7号接近に伴う、避難所開設の状況を伺います。

答 総務部長 高齢者等避難の発令と同時に避難所5か所を開設し、その後、台風の勢力が落ちることなく接近し、避難者数が多くなると予想されたため、避難所3か所を増設しました。

問 8月の酷暑の中、学校での避難場所が体育館であったのか伺います。

答 総務部長 空調設備のない場所が負担が大きいため、学校施設の協力を得て、空調設備のある教室等に避難者を受け入れました。

問 避難所開設の長期化に伴い、職員が避難所運営に携わり続けることは困難であり、また、職員も被災して

いることが想定されますが、その際の対応について見解を伺います。

答 総務部長 令和6年能登半島地震では、多くの自治会が避難所運営委員会を事前に立ち上げており、行政も早い段階から、他自治体の応援職員を日中に限り配置し、当該委員会との調整を図っていたと聞いています。

風水害であれば、事前に対策を講ずることができると、職員による対応は可能と考えますが、地震等の場合は、多くの災害対策を同時に行う必要があります。職員のみでの避難所運営は困難と考えます。今後も、避難所運営委員会設立の普及に努めていきます。

金属スクラップヤード等規制条例

問 市内における金属スクラップヤード等の設置状況およびこれまでの苦情等に対する市の対応を伺います。

答 建設環境部長 県が制定した金属スクラップヤード等規制条例の対象となる事業場は、市内に約10か所あることを把握しています。

ヤード等の近隣住民からは、断続的な金属の衝撃音による騒音や、機械油や雨水の場外流出等の苦情があり、その都度、市公害防止条例の規制基準に沿った対応を行っています。

また、今後は、立ち入り検査権限が市にも付与されたことから県と早期の連携を図ることが可能となります。

関連質問